

令和8年度第1回大野城市民読書活動推進委員会 会議録

日 時 令和8年7月 22 日(水)10:00～11:20

場 所 市役所本館2階 212 会議室

出席者 部会員 齊藤智子会長、森部敦子副会長、河井律子委員、羽地亜希子委員、久家幸雄委員、橋本洋子委員、川口佳代子委員、見城享子委員、関和弘委員、大熊あい子委員、小嶋恒夫委員、山内友香委員

事務局 緒方地域創造部長、佐護コミュニティ文化課長、荒牧コミュニティ文化課芸術文化担当係長、筒口主査、武内、
堤学校・地域連携課学校教育担当係長、
中川学校・地域連携課地域連携担当係長、

内 容

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 新任委員自己紹介
- 5 議題

(1) 主な取組ごとの達成状況の確認

事務局より、本日の流れ及び留意事項等について説明を行う。

「施策進捗状況シート」に沿って 12 の施策における主な取組ごとの「達成状況」の確認を行い、特に検討が必要な事項等がないか意見等をいただく。

基本目標1 あらゆる世代の読書の推進

(1)乳幼児

① 絵本の紹介と保護者への啓発

〈意見、質問等〉

関委員	・「Baby ぱらら」と「こぱらら」は、園への送付枚数が少ないため、園内に設置するのみで保護者が見ているかどうかはわからない。冊子を発行したその先が読書推進につながっているかはわからない。
事務局	・冊子による効果が見えない点は確かにある。本計画が来年度に中間見直しを迎えるため、市民アンケートを実施予定。冊子を見て、本を借りることにつながったのか、借りたいと思ったのか等の効果も確認したい。

② 読み聞かせの推進

〈意見、質問等〉

関委員	・保育所では通常保育の中で読み聞かせをしている。
-----	--------------------------

③ 絵本の貸出の実施

〈意見、質問等〉

関委員	・保護者への本の貸出が年々難しくなっていることは感じる。
-----	------------------------------

(2)小・中学生

① 本の紹介

② 読み聞かせ等の推進

③ 読書時間の確保

④ 読書活動の促進

⑤ 読書目標の設定

⑥ 調べ学習の促進

⑦ 保護者への啓発

※学校・地域連携課より、各学校の読書活動に関する取り組みの代表的なものについて別途資料に基づき説明を行う。

→主な取組①～⑦に対する質疑、意見なし。

(3)高校生以上の学生

① 本の紹介

② 読書活動の促進

③ 調べ学習の促進

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

(4)社会人

① 読書活動の促進

② 生涯学習の促進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

(5)高齢者

① 読書活動の促進

② 生涯学習の促進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

(6)全世代共通

- ① 読書活動の促進
- ② 本の紹介
- ③ 情報発信の強化

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

基本目標2 読書に親しむ環境づくり

(1)身近な読書活動の場の充実

- ① 図書館の充実
- ② 学校図書室の充実

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

- ③ 地域貸出文庫の充実

〈意見、質問等〉

山内委員	・地域貸出文庫の各文庫の貸出件数は、伸びているのか。
川口委員	・文庫は常時開放になっている。夜は大人が借りに来たりしているようだ。統計はどこかで集計していないか。
久家委員	・つつじヶ丘文庫は、昨年度の利用者数は423名、本の貸出は761件であった。年1回、市に報告をしている。
川口委員	・文庫全体の状況がわからないので、全文庫のまとめた報告がほしい。 ・本は読んでいるが、貸出につながっているかはわからない。その場で読む子もいる。 ・子どもの居場所ということで開けている面もある。
関委員	・利用者はリピーターが多いのか。
久家委員	・リピーターが多い。窓口の貸出帳で管理している。
事務局	・来年度計画の見直しに伴い、貸出件数を報告できるようにする。

- ④ コミュニティセンターのコーナー充実
- ⑤ 気軽に読書・調べ学習できる場の充実
- ⑥ 移動図書館の活用促進
- ⑦ 本を届けるサービスの実施
- ⑧ イベントの実施

→主な取組④～⑧に対する質疑、意見なし。

- ⑨ 電子書籍サービスの導入・運用

〈意見、質問等〉

関委員	・利用者数が増えているということは図書館新規登録者が増えているということか。電子図書の貸出状況はわかるか。
事務局	・新規登録者は、(市民であれば)電子図書館が自動的に利用できる

	ため、利用が増えている。小中学生は、学校で一人一台タブレットを導入し、電子図書館の ID を付与して使用しているので、利用は増えている。
関委員	・この報告では電子図書館の貸出数の数が見えない。読書しているという数が見えないと効果がわからないので、今後は指標に入れてほしい。
事務局	・来年度計画の見直しに伴い、電子図書館の貸出件数を報告できるようにする。

(2)資料の充実と効率的な活用

① 資料の充実

② 団体貸出の促進

③ 図書の再活用

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

(3)読書バリアフリーの推進

① 館内設備の充実

② バリアフリー資料の充実

③ バリアフリーサービスの充実

④ 多文化サービスの充実

→主な取組①～④に対する質疑、意見なし。

基本目標3 読書ネットワークの充実

(1)身近な読書活動の場の充実

① 相談窓口の充実

② 時代に即した連携のあり方の検討

→主な取組①、②に対する質疑、意見なし。

(2)読書活動を支える人の活動の活性化

① 図書館司書のスキルアップ

② 学校司書活動の充実

③ 保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援

④ 読書ボランティアの育成

⑤ 読書ボランティア人材の発掘

⑥ 読書ボランティア活動の活性化

⑦ 読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり

→主な取組①～⑦に対する意見等はなし。

(3)市民交流の創出

① 市民が参加できるイベント等の実施

→主な取組に対する意見等はなし。

〈全体への意見、質問等〉

河井委員	・小中学生の学校での読書時間の減少により、読まない子に本を手渡せないことになる。読む子と読まない子の二極化が更に促進されることが危惧される。本を使った授業をする等知恵を出し合って、読書の時間を増やす仕組みづくりを検討してほしい。
小嶋委員	・学校での取組にかなり差があるように感じる。まずは1年生から読書を覚えて、どんどん広がってほしい。
斉藤会長	・学校のカリキュラムは各学校で決めている。読書時間が減少していることは事実。しかし、読書をないがしろにしているわけではない。 ・以前隙間時間で読書をしていた時間が、タブレット学習の時間に充てられる等、使い方が変わりつつある。 ・各学校で図書司書を中心に、図書室イベントを実施するなど図書室に来てもらう仕掛け作りは行っている。 ・読書がもっと広まっていくように、学校でも啓発していきたい。
関委員	・計画の見直しに伴い、本計画を以前の子ども読書計画に戻して、教育委員会に担ってもらうのはどうか。 ・子どもを育てる読書推進と、地域やコミュニティのための楽しむ読書では性質が違う。お互いに意見が言いにくい。各々が読書を推進していかないといけない。 ・保育園でも子どもの語彙力の低下を実感している。それを支えるのが読書。 また、保護者の理解も低下して、弱体化している。フォローしないと、今後誰が読書を育てるのか。皆で考える時期にさしかかっている。
川口委員	・こども食堂で読書スペースの提供や読み聞かせに協力している。皆が集まって、笑顔になって心豊かになる。
事務局	・本日いただいたご意見等は、今後事務局と所管課で調整し、結果を報告させていただく。

6 その他

7 閉会

以 上